

世界史

(問題)

2016年度

〈2016 H28100015 (世界史)〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

- 1 フランスの歴史について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、波線部A～Cに関する問いの答えを、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

日本の高校世界史では、16世紀以降、近代にいたるまで、イギリスが議会制民主主義と産業革命の実現を通じて世界史の展開をリードしたことが中心的なテーマのひとつとなっている。しかし、果たしてそれだけが歴史的な真実なのだろうか。フランスを中心に、それとは少し異なるヨーロッパ史を考えてみよう。

現在のフランスでは、すでに前2世紀からローマ帝国の属州化が始まり、街道と都市が建設され、ローマ人による統治と経済活動が展開していた。4世紀以降、ゲルマン人の南下が本格化するなかで成立したメロヴィング朝フランク王国を経て、次のカロリング朝フランク王国では、巡察使制度の本格的な導入など、少しずつ非ローマ的要素が増していた。しかし、800年のカール大帝のローマ皇帝戴冠は、依然、ローマ皇帝理念の存在の大きさを物語っている。

これに対して、10世紀末に始まるカペー朝王権は、成立当初はパリ周辺地域のみにはしか実質的支配を及ぼすことが出来なかったが、その後、13世紀初頭には、フランス王国の指導者としての地位を確立した。当時のカペー朝は、自分たちに先立つメロヴィング王家が、かつてギリシア人に滅ばされたとされるトロイア人の王**A**ブリアモスの子孫であると称していたが、それは、同じトロイア人でも**B**アエネアスを祖とする伝説をもっていたローマ人とは異なる出自の支配者であることの間接的な自己表明だったといえる。

13世紀に本格化するフランス社会の発展は目覚ましい。荘園制の下で農業生産は増大し、各地の都市は商工業で繁栄した。推定人口数でも、黒死病流行以前の段階で、フランス王国は2,000万人を超え、イングランド王国の約5倍に達していた。13世紀のルイ9世は、事実上最後の十字軍を指揮したほか、ヨーロッパ全体の紛争の調停者としての名声を博していた。「教皇のバビロン捕囚」も、そのようなヨーロッパ世界におけるフランスの地位の上昇の反映だった。

同時代のイングランドでは、マグナ・カルタや議会を通じて国王の専制支配が制限されたのに対して、フランスでも三部会と通称される身分制議会が開催された。しかし、百年戦争の混乱期を抜け出るところから、三部会の開催は減少していく。そこでは、イングランドに比べてはるかに広大なフランス各地から毎年1ヶ所に参加者が集まることの困難に加えて、君臣間にある程度の信頼関係が存在したことが大きく影響していた。

絶対王政の時代に入ると、ヨーロッパにおけるフランス王国の主導的地位は疑うべくもない。各国の君主が営む宮廷生活のモデルはフランスのそれであり、フランス語は多くの宮廷における共通語となった。フランスでは、このような宮廷で用いられる絹織物やクリスタル・ガラスなどの奢侈品の生産が盛んになった反面、のちの産業革命期には、安価な大量生産商品の製造に後れを取ることとなる。加えて、植民地争奪戦や世界貿易の覇権争いにおいてもイギリスに敗れた。しかし、現在の私たちの生活においても、フランスで製造された奢侈品がブランド品としてもてはやされ続けているが、その源は絶対王政期のフランスに遡るのである。

(1) 古代ローマについて、正しい説明はどれか。

- a カエサルは、大ブリテン島全域を征服し、属州とした。
- b 全ガリアを征服して、属州としたカエサルの名声は高まり、終身コンスルとして絶対的な権限を行使した。
- c 五賢帝の3番目に数えられるトラヤヌス帝の治世に、ローマ帝国の領土は最大になった。
- d ローマからイタリア半島南部へ向けて、アッピア街道が建設された。

(2) イベリア半島に進出することはなかったゲルマン人部族はどれか。

- a ヴァンダル b 西ゴート c 東ゴート d フランク

- (3) カール大帝の治世中の出来事ではないものはどれか。
- a アヴァール人の撃退
 - b ザクセン人の征服
 - c ベネディクトゥスによる修道院戒律の制定
 - d ランゴバルド王国の滅亡
- (4) フランスのみならず、中世ヨーロッパ全体の経済的発展について、誤っている説明はどれか。
- a 修道院は、開墾運動を推し進めた中心的社会集団のひとつだった。
 - b リューベックを盟主とするハンザ同盟は、ノヴゴロドやスウェーデンのベルゲンにまで在外商館を置いて交易をおこなった。
 - c 既存の大商人に対抗して、手工業者はツunftを結成して、都市自治への参加を要求した。
 - d 地中海商業圏と北ヨーロッパ商業圏を結ぶ都市として、アウクスブルクやニュルンベルクが発展した。
- (5) イングランド王国について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① デーン朝を開いたクヌート（カヌート）は、デンマーク王とスウェーデン王でもあった。
 - ② 百年戦争の戦費調達のための人頭税徴収に反対して、ワット・タイラーの乱が起きた。
- a ①—正 ②—正
 - b ①—正 ②—誤
 - c ①—誤 ②—正
 - d ①—誤 ②—誤
- (6) 「教皇のバビロン捕囚」が起こった世紀の出来事として誤っているものはどれか。
- a アルビジョワ十字軍
 - b 異端審問
 - c ウィリアム＝オブ＝オッカムの活動
 - d ニコポリスの戦い
- (7) 絶対王政期のヨーロッパについて、誤っている説明はどれか。
- a フランスでは、ユグノー戦争の結果、新教徒にも信教の自由が認められた。
 - b オーストリア継承戦争後の「外交革命」の結果、ハプスブルク家はフランスと同盟することとなった。
 - c 北欧では、三十年戦争の結果、デンマークの優位が確立した。
 - d フランスなどで、常備軍の導入が進んだ。
- (8) 世界各国の宮廷で営まれた宮廷文化について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① フランス語の統一と純化を目的としたフランス学士院（アカデミー・フランセーズ）は、ルイ14世治世に創設された。
 - ② 北京郊外の円明園には、バロック様式の建物が建てられていた。
- a ①—正 ②—正
 - b ①—正 ②—誤
 - c ①—誤 ②—正
 - d ①—誤 ②—誤
- (9) フランスが1713年のユトレヒト条約で失った海外領土はどれか。
- a ヴァージニア
 - b ニューファンドランド
 - c ミノルカ島
 - d ルイジアナ

(10) 絶対王政期の世界貿易の覇権争いに関する以下のことがらを古い方から時代順に並べた場合に、3番目に来るものはどれか。

- a アンボイナ事件
- b カーナティック戦争
- c 第3次イギリス＝オランダ（英蘭）戦争
- d 財務総監となるコルベールによるフランス東インド会社の再建

設問A この時期に、王領地の大幅な拡大に成功したフランス国王の名前を記せ。

設問B 19世紀に、トロイアと推定される都市遺跡を発掘した考古学者の名前を記せ。

設問C 百年戦争開始時のフランス王国の王朝名を記せ。

- 2 戦争について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、波線部A、Bに関する問いの答えを、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

戦争のあり方は、ヨーロッパの歴史の中で変遷をとげてきた。戦争の目的はさまざまであったが、戦争を制限する理由はそれほど多くはなかった。戦争の制限や放棄という考え方が出てくるのはフランス革命後のことである。1791年憲法は、侵略戦争の放棄を謳っていた。その後、残虐兵器の使用禁止や非戦闘員の保護などについての合意が生まれ、1899年および1907年の万国(国際)平和会議で決定がなされた。

とはいえ、本格的な軍縮や不戦にまで議論がおよぶのは第一次世界大戦後のことである。1920年代には、ジュネーヴ議定書やジュネーヴ条約によって兵器や非戦闘員の人道的取り扱いについて定められた。1928年には、戦争を違法化したパリ不戦条約が締結された。しかしながら、こうした流れは第二次世界大戦の勃発をとめることはできなかった。

第二次世界大戦後に創設された国際連合の憲章第2条は、国際紛争を平和的手段によって解決すること、ならびに武力行使の自制を謳っている。これは個別的又は集団的自衛権の権利を否定するものではない。また、人道的介入を理由とし、国際連合の安保理決議を経た軍事介入は容認されている。だが、コソヴォ紛争の際には安保理決議なしにNATO軍による空爆が行われた。

(1) この間の出来事でないものはどれか。

- a ドイツによるバグダード鉄道敷設権の獲得。
- b 第一次日英同盟の成立。
- c 日本から中国への二十一カ条要求。
- d ロシアの血の日曜日事件。

(2) この会議が開催された都市はどれか。

- a サンクト＝ペテルブルク
- b ハーグ
- c パリ
- d ベルリン

(3) この会議開催を提唱したロシア皇帝ニコライ2世について、誤っている説明はどれか。

- a 在位中、日露戦争が起った。
- b 1917年の十一月革命(ロシア暦十月革命)で退位を迫られ、その後処刑された。
- c 皇太子時代に日本を訪問した際、日本人に斬りつけられた。
- d 帝政ロシアのロマノフ朝最後の皇帝である。

(4) 軍縮について、誤っている説明はどれか。

- a アメリカ大統領ローズヴェルトは連邦議会で発表した14カ条の原則で、軍備縮小を主張した。
- b 1922年に調印されたワシントン海軍軍備制限条約では、主力艦保有比率が決められた。
- c 1927年のジュネーヴ(海軍)軍縮会議は失敗に終わった。
- d 1930年のロンドン軍縮会議では補助艦保有比率が決められた。

(5) 連合国(協商国)でない国はどれか。

- a イタリア
- b ブルガリア
- c モンテネグロ
- d ルーマニア

3

以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、波線部A～Cに関する問いの答えを、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

14世紀の大旅行家イブン・バットゥータは、1304年モロッコ北部の港町タンジールに生まれた。ベルベル系ムスリム⁽¹⁾であった彼は、30年近くイスラームの伝播した諸地域を巡り、帰国後に旅の記録を口述した。これをもとに編纂されたのが、わが国では『三大陸周遊記』として知られている大旅行記である。旅は中東、アフリカからインド、東南アジア、中国にまでおよぶが、情報には矛盾や誤解もあり、実際に訪れたかどうか疑問視される土地もある。

旅行記の語るところによれば、1325年21歳でメッカ巡礼の旅に出た彼は、北アフリカ海岸にそってエジプトに入り、ナイル川をさかのぼってカイロを訪れた。その後、シリアを経由してメッカに到着し、念願の巡礼をはたすと、イラク、イラン⁽⁴⁾を巡った後にメッカに戻り、約3年間かの地にとどまった。1330年にまた旅立ち、今度はイエメン経由で紅海、東アフリカ海岸⁽⁵⁾を南下した。その後北へと進路を変え、アラビア半島を横切って、エジプト、シリア、アナトリアを周遊する。さらに黒海を渡ってブハラ、サマルカンド⁽⁷⁾といった中央アジアの都市を歴訪、ヒンドークシュを越えてついにインダス川流域に到達する。インドではトウグルク朝⁽⁸⁾のスルタンの下で法官として8年余り仕えた。

インドを脱した彼は、海路モルディヴ諸島、セイロン島⁽⁸⁾に立ち寄りながら北へ向かい、ベンガル地方を巡った後、南下してスマトラ島を訪れた。そして、マラッカ海峡⁽⁹⁾を通過して南シナ海に入り、泉州に上陸して元朝の都大都に至る。帰途は、インド洋を渡ってペルシア湾に入り、シリア、エジプトを経由して、ふたたびメッカ巡礼を果たした後、1349年に四半世紀ぶりに帰国した。しかし、長くとどまることなくまたも旅に出る。次なる目的地はヨーロッパで、ジブラルタル海峡を渡りグラナダ⁽⁹⁾まで行っている。最後の旅はアフリカで、サハラ砂漠を横断し、マリ王国⁽¹⁰⁾、ニジェール川上流を巡って1354年に帰還した。

イブン・バットゥータにこれだけの大旅行を可能とさせたのは当時のイスラーム世界の広がりであった。モロッコから東アジアに至るムスリム・ネットワークが彼の旅に目的を与え、困難を克服させたに違いない。

(1) ベルベル人について、誤っている説明はどれか。

- a アラブ人による征服以前からモロッコ、アルジェリアといった北アフリカ西部に居住していた。
- b アラブ支配下でイスラーム化がすすみ、11世紀にはムワッヒド朝を建国した。
- c ベルベル系のムラービト朝はガーナ王国を破り、西アフリカのイスラーム化をうながした。
- d ファーティマ朝の建国にあたり、支持勢力となった。

(2) 巡礼はムスリム（イスラーム教徒）の義務である五行の一つであるが、次のうち五行に含まれないのはどれか。

- a 喜捨 b 懺悔 c 断食 d 礼拝

(3) 当時のエジプトを支配していた王朝はどれか。

- a アイユーブ朝 b アッバース朝 c ウマイヤ朝 d マムルーク朝

(4) カイロについて、誤っている説明はどれか。

- a ファーティマ朝の建設した軍営都市を核として発展した。
- b イスラーム学の中心的な役割を果たしたアズハル学院はこの地にある。
- c アレクサンドリアとともにインド洋貿易で活躍したカーリミー商人の拠点となった。
- d 1943年ローズヴェルト、チャーチル、スターリンがこの地で会談し、対日戦の基本方針を討議した。

- 4 中国について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また波線部A、Bに関する問いの答えを記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

清末から中華民国の時期にかけて、中国では清代の藩部を国土の辺疆と再定義した結果、従来は漢族と上下関係ではなかったモンゴルやチベットの人々が、少数民族とみなされるようになり、それに反発したチベット、モンゴルでは自立・独立路線が強まった。国共内戦をへて、1949年に北京で中華人民共和国が成立すると、国民党は台湾に逃げ二つの中国政府が対峙することとなった。(1) 1958年から、毛沢東は農村の人民公社化をすすめたものの多くの餓死者が出て、求心力は低下した。(2) 劉少奇が急進的な社会主義を緩和する政策をとると、毛沢東は反発し、66年から大衆を動員した権力闘争を展開した。(3) (4) (5)

60年、中ソ対立は決定的なものとなり、その激化は中国の西側諸国への接近を促し、一方ベトナム戦争に苦戦したアメリカ合衆国も中国との和解に向かい、71年に中華人民共和国は国連の代表権をえた。(6) (7) B

76年の毛沢東の死後、鄧小平は四つの現代化を推進し対外開放政策を実施した。しかし、一党独裁を維持して民主化を抑圧したため、89年には学生による民主化要求運動が起き、鄧小平は人民解放軍を動員して弾圧した。(8) (9) 他方、経済発展につれてチベットやウイグルに漢族が流入した結果、民族対立が激化し、2008年にはチベット、2009年にはウイグルにおいて暴動が発生した。(10)

- (1) 以下のことがらを古い方から時代順に並べた場合に、3番目に来るものはどれか。

- a 宣統帝の退位
- b 外モンゴルの独立宣言
- c ダライ＝ラマ13世によるチベット独立宣言
- d 中華民国の成立

- (2) 1947年に台湾でおきた国民党に対する大規模な抗議運動を何というか。

- a 二・二八事件
- b 五・三〇運動
- c 五・四運動
- d 九・三〇事件

- (3) 「二つの中国」について、誤っている説明はどれか。

- a イギリスは米中和解後に北京政府を承認した。
- b 1952年、日本は台湾と日華平和条約を締結した。
- c 台湾の戒厳令は80年代後半まで続いた。
- d 蒋介石は紫禁城の宝物を台北へと遷した。

- (4) この政策を何というか。

- a 新政
- b 大躍進政策
- c 反右派闘争
- d 百花斉放

- (5) この大衆運動について、誤っている説明はどれか。

- a 儒教思想が称揚された。
- b 都市の青年が農村に下放された。
- c 毛沢東は紅衛兵を動員して実権派を追放した。
- d 老舍などの知識人が多数犠牲となった。

- (6) 中ソ対立について、誤っている説明はどれか。
- a アルバニアが毛沢東を批判した。
 - b 1969年に中国東北国境で中ソが軍事衝突した。
 - c 毛沢東は対米平和共存路線を歩むフルシチョフを修正主義と批判した。
 - d 1964年に中国は単独で核実験に成功した。
- (7) この時のアメリカ大統領は誰か。
- a カーター b ケネディ c ニクソン d フォード
- (8) 四つの現代化に入らないものはどれか。
- a 工業 b 国防 c 農業 d 交通
- (9) この事件と同年でないものはどれか。
- a COMECON解散
 - b ベルリンの壁開放
 - c ソ連のアフガニスタンからの撤退
 - d ポーランドの総選挙で「連帯」圧勝
- (10) この時期の中国の総書記は誰か。
- a 江沢民 b 胡錦濤 c 習近平 d 趙紫陽

設問A 清朝全盛期、藩部を統轄した役所の名を漢字で記せ。

設問B 1955年、南ベトナムに成立したベトナム共和国の初代大統領の名前を記せ。

[以 下 余 白]